

高田小町オープン

7月1日、本町6丁目に

高田市街地に「町家交流館高田小町」がオープンしました。場所は本町6丁目、かつて「下小町」と呼ばれた界隈です。金津桶店や今井染物店とともに、高田市街地活性化の核になってほしいものです。

かつてはボロ家だったが

もともとは「小妻屋」という商家でした。行き詰って競売にかかっていたものを、宮越前市長の時代に約7千万円もかけて買い取っていたものです。

当時の状態は正直言って、「こんなボ

ロ家、買ってどうするん

だ」という



挨拶する木浦市長

状況で
した。そんなことから取得そのものに反対したものです。しかし買ってしまっただけから、活用しないわけにはいきません。

整備に金もかかりました

この間、「売ってしまえ」「壊して建て替えたなら」等々、いろいろな議論がありました。地元町内や近隣町内からの厚い思いもあり、集会施設を持ったものとして整備されることになりました。国の「まちづくり交付金」を活用しましたが、改造して使えるようにするのに、約1億円がかかっています。

集会所と休憩所を兼ねる

入ると吹き抜けのホールになっています。町家の「茶の間」です。左手には無料休憩所でもある交流サロンがあり、くつろげる空間になっています。黒光りする太い柱と梁が、年代を感じさせます。二階には和室が二つあり、落ち着いた会議などに活用できます。

奥に行く中庭を挟んで、左手に新たに作った多目的ホールがあり、右側の土蔵がギャラリーになっています。いたずら小僧が閉じ込められたあの土蔵です。建物の右側には、本町から大町に通ずる通路もあり、今井染物店などに行くこ

とができます。

失われつつある宝物

本町6丁目の森町内会長が、「まだ宝物が眠っている」と言っておりました。「古いから捨てちゃってなるんだよね」と言う方も

ありました。跡継ぎがい
る家はまだ
になって取
り壊される
と「宝物」も
一緒に失わ
れてしま
います。まさに

「もったいない」話
です。

発掘された宝物
たちが、一階に展
示されています。
懐かしさでいっ
ぱいになります。



日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

市政レポート

2007年7月8日 150
発行 杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832

原水禁・平和行進がやってきました

6月28日、原水禁・平和行進がやってきました。5月6日に北海道礼文島を出発し、日本海側の各県をリレーして6月中旬に、鼠ヶ関でバトンタッチして新潟県に入ってきました。

この日は、柏崎市から米山峠を越え、夕方川原町の平和記念公園で上越部隊と合流して、水族博物館横の平和公園まで行進しました。

29日は夕方県境で、長野県に引き継ぐのですが、



28日 直江津中学校付近

「大雨注意報」が出るといふ大変な状況の中での行進になりました。午前中

は、直江津の平和公園から高田公園までの約8kmをパレードしました。私は、木田からの参加です。午後、木浦市長と山岸議長を訪問しました。

この平和行進、8月はじめに東京に到着し、6日には全国各コースとともに広島に集結します。そして原水禁世界大会へとつながっていきます。

原水禁運動とともに続けられてきた平和行進も、今年50回を迎え、「核兵器をなくそう」の声がいっそう強くなっています。

久間防衛大臣の暴言

そんな矢先(6月30日)の久間防衛大臣の発言です。広島・長崎への原爆投下は「しょうがないと思っている。米国を恨むつもりはない」。これが唯一の被爆国日本の閣僚が言つことか。「絶対に許されない」という輿論(よる



「平和像」の前での引き継ぎ集会

ん)が国内だけでなく世界に、瞬く間に広がりました。

久間大臣は、辞任しました。しかし、辞任の理由は、「参院選に影響が」と言うもので、発言内容についての釈明も反省もありません。

「日米同盟の維持強化」しか頭になく、「間違つたことを言った」という認識がまったくないのです。後任の小池元環境相は、久間氏以上のタカ派だそうです。いっそう輿論を高めていかなければなりません。

「非核平和都市宣言」を行っている上越市の立場とも、相容れない政府与党です。

参院選、間近に

暑い夏のたたかい、参院選が間近に迫ってきました。安倍自公政権の策謀で、公示が一週間遅れて12日になりました。投票日は、上越まつり最終日と重なる29日です。

6月24日、山口のりひさ氏(衆院北陸信越候補)とともに、高田市街地で街頭宣伝を行いました。18日(水)3時には、市田忠義書記局長が旧長崎屋前で訴えます。

